

平成 27 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名		環境産業部 環境政策課	
予算科目	会計	01	一般会計
	款	04	衛生費
	項	01	保健衛生費
	目	06	環境保全対策費

基本目標 1 健やかな暮らしを支え、安全で快適に暮らせるはつかいち
 政策目標 2 恵まれた環境を未来につなぐまちに
 重点的取組 1 次世代に引き継ぐ地球環境を守る

事業名	環境都市創造事業	事業開始年度	平成 25 年度
	(ラムサール条約登録湿地利活用推進事業)	根拠法令 条例 個別計画等	ラムサール条約 宮島ラムサール条約連絡協議 会設置要綱

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	<ul style="list-style-type: none"> 宮島来島者 廿日市市内学生 	宮島がラムサール条約に登録され、自然環境に恵まれた島であることが国際的に認められた。そうした宮島の自然環境を周知し、また学生を対象とした講座を開講し、自然環境の大切さを理解してもらい、貴重な自然環境を次世代に引き継ぐことを目的とする。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	市役所(職員)の役割	関係団体(パートナー)	関係団体(パートナー)の役割
宮島ラムサール条約連絡協議会	宮島ラムサール条約連絡協議会事務局としての連絡調整、議事の進行	ミヤジマトンボ保護管理連絡協議会、環境省、広島県	ミヤジマトンボの個体数の把握、増進及びミヤジマトンボ生息湿地の保全活動

3 平成 27 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）	(事業の内容) ・宮島ラムサール条約連絡協議会を開催し、ラムサール条約に係る本市の取り組むべき課題を認識した。 ・ラムサール条約登録地の先進地視察を行い、他自治体の取り組み状況を確認した。 ・ラムサール条約登録湿地関係市町村会議に参加し、関係市町村と情報交換を図った。 ・登録湿地やミヤジマトンボを紹介したパンフレット「宮島とラムサール条約」を作成・配布し、条約登録の啓発及び周知を行った。 ・ラムサール条約に登録された宮島の海岸漂着ゴミの収集を行い、自然環境及び景観の保全に取り組んだ。 ・小学生及び宮島観光ガイドを対象としたラムサール条約に関する学習会を開催し、ラムサール条約の普及啓発に取り組んだ。 (事業費) 【歳入】 ・地域廃棄物対策支援事業補助金 438,000 円 【歳出】 ・平成27年度ラムサール条約登録湿地関係市町村会議旅費等 48,620 円 ・宮島自然環境実態調査 1,080,000 円 ・「宮島とラムサール条約」(パンフレット、パネル)の作成 357,156 円 ・宮島海岸及びミヤジマトンボ生息地の漂着ゴミの収集 875,691 円 ・宮島ラムサール条約連絡協議会委員報償費等 46,840 円 ・ラムサール条約学習会講師謝金等 17,180 円 ・平成27年度ラムサール条約登録湿地関係市町村会議運営負担金 40,000 円 ・その他委託料等 145,040 円 <div style="text-align: right;">(合計) 2,610,527 円</div>						
	コスト情報（円）	項目		平成 26 年度決算	平成 27 年度決算①	①のうちH26から繰越	H27からH28へ繰越
		財源内訳	直接事業費 A	2,069,488	2,610,527		
			国庫支出金				
			県支出金				
			借入金(市債)				
			その他(使用料など)				
		市(市税など)	2,069,488	2,610,527			
	人件費(按分) B	0.50 人 4,287,000	1.00 人 8,458,000				
	総事業費(A+B)	6,356,488	11,068,527				
単位コスト換算	① 人口(4月1日現在)	117,182 人	117,128 人				
	② 市民1人当たり	54	94				
到達目標	活動及び成果指標		単位	H26実績値	H27目標値	H27実績値	備考
	活動	小学生向け環境講座(ミヤジマトンボの生態)受講者数	人	163	300(3)	156(2)	(実施回数)
	成果	宮島ラムサール条約連絡協議会開催回数	回	2	2	1	
	成果	受講者のうち、湿地環境保全に関心を持った人数	人		285	125	
成果	ラムサール条約登録湿地認知度	%		50	50		